

作成日 平成 9年 2月 13日
 改定日 平成 29年 3月 15日

安全データシート(SDS)

1. 製品および会社情報

製品名	JC ハービック粒剤
会社名	日本カーリット株式会社
住所	〒377-0004 群馬県渋川市半田 2470
発行部門	生産管理部 環境安全品質保証グループ
電話番号	0279-23-8812
FAX 番号	0279-23-8834
緊急連絡先	同上
整理番号	A-1610
推奨用途および 使用上の制限	農薬（除草剤） 上記以外の用途での使用不可

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

爆発物	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入:気体)	分類できない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	区分1
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器)
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	区分2
水生環境慢性有害性	区分2
オゾン層への有害性	分類できない

上記に記載がない危険有害性項目は分類対象外。

GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語
 危険有害性情報

危険
 強い眼刺激
 遺伝性疾患のおそれの疑い
 発がん性のおそれ
 吸入した場合、呼吸器の障害
 長期にわたる、または反復暴露により呼吸器の障害
 水生生物に毒性
 長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

[安全対策]
 取り扱い後はよく手を洗うこと。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 使用前に取扱い説明書を入手すること。
 すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
 粉じん／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 環境への放出を避けること。

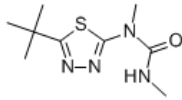
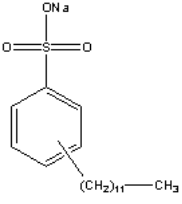
[応急措置]
 ◆ 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄する。無理に吐かせない。直ちに医師の診断を受けること。
 ◆ 皮膚に付着した場合：直ちに石鹸と大量の水で洗い流す。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 ◆ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
 ◆ 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 ◆ ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
 ◆ 漏出物を回収すること。

[保管]
 施錠して保管すること。

[廃棄]
 内容物や容器を、都道府県知事等の許可を得た専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成および成分情報

単一化学品・混合物の区分	混合物				
化学名または一般名	1-(5-tert-ブチル-1,3,4-チアジアゾール-2-イル)-1,3-ジメチル尿素	ベントナイト	トデシルベンゼンスルホン酸塩	カルボキシメチルセルロースナトリウム	炭酸カルシウム
別名	テブチロン	含水珪酸アルミニウム			タンカル
含有率	5.0%	40.0%	1.0%未満	1.5%	50.7%

化学式または 構造式		$\text{Si}_8(\text{Al}_{3.34}\text{Mg}_{0.66})$ $\text{Na}_{0.66}\text{O}_{20}(\text{OH})_4$		$[\text{C}_6\text{H}_7\text{O}_2(\text{OH})_{3-x} \text{CaCO}_3$ $(\text{OCH}_2\text{COONa})_x$] $_n$	
	$\text{C}_9\text{H}_{16}\text{N}_4\text{OS}$		$\text{C}_{18}\text{H}_{29}\text{NaO}_3\text{S}$		
官報公示 整理番号	(化)5-5242 (安)公表	(化)対象外	(化)3-1884 (安)公表	(化)8-181 (安)公表	(化) 1-122 (安)公表
CAS No.	34014-18-1	1302-78-9	非開示	9004-32-4	471-34-1

4. 応急措置

飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄する。無理に吐かせない。直ちに医師の診断を受けること。
皮膚に付いた場合	直ちに石鹼と大量の水で洗い流す。気分が悪い時は、医師に連絡する。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受ける。
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師に連絡する。
急性症状および遅発性症状の最も重要な徴候および症状	—
応急措置をする者の保護	—
医師に対する特別な注意事項	—

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、二酸化炭素、消火粉末、強化液
使ってはならない消火剤	—
火災時の措置に関する特有の危険有害性	火災によって刺激性または毒性のガスおよびヒュームが発生するおそれがある。
特有の消火方法	本剤は燃えないが、火災を増大させる危険性があるものを周囲から速やかに取除く。 関係者以外は安全な場所に退去させ、立ち入りを禁止する。 消火作業は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。
消火を行なう者の保護	消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。 漏洩物の上をむやみに歩かない。 必要に応じた換気を確保する。
保護具および緊急時措置	作業者は防じんマスクなど適切な保護具を着用し、吸入、眼や皮膚への接触、誤飲を避ける。
環境に対する注意事項	除草剤として植物を無選択に枯らすので、漏洩物を直接河川や下水に流してはならない。
回収、中和ならびに封じ込め	飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収し、専

よび浄化の方法・機材
 二次災害の防止策

門の廃棄物理業者に委託処理する。
 ー

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策
 (局所排気・全体換気)

飛散を防止し、みだりに粉じんを発生させない。
 屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。
 屋内での取扱いは、局所排気内、または全体換気の設備のある場所で行なう。

安全取扱注意事項

散布する時は、農薬用マスク・手袋・長ズボン・長袖の作業着等を着用する。

接触回避
 衛生対策

粉末を吸い込んだり浴びたりしないようにする。
 作業後は手足・顔などを石鹼でよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。

保管

安全な保管条件

直射日光を避け、低温で乾燥した場所に密封し、施錠して保管する。

安全な容器包装材料

ポリエチレン

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度
 許容濃度

設定されていない(通常の扱いは粉じんは発生しにくい)

日本産業衛生学会(2014)
 ACGIH(2006)

(吸入性結晶質シリカとして 0.03mg/m³)
 (シリカとして TLV-TWA 0.025mg/m³)

設備対策

ー

保護具

呼吸用保護具

防じんマスク

手の保護具

不浸透性保護手袋

眼の保護具

ゴーグル型保護眼鏡

皮膚および身体の保護具

長袖長ズボンの作業衣、長靴、前掛け等

9. 物理的および化学的性質

外観(物理的状态、形状、色など)

類白色細粒

臭い

無臭

臭いの閾値

データなし

pH

10 (20wt%水溶液)

融点・凝固点

データなし

沸点、初留点および沸騰範囲

データなし

引火点

データなし

蒸発速度

データなし

燃焼性

データなし

燃焼または爆発範囲の上限・下限

データなし

蒸気圧

データなし

蒸気密度

データなし

比重(相対密度)

見掛比重:1.0

溶解度

データなし

n-オクタール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし
その他のデータ	—

10. 安定性および反応性

反応性/化学的安定性	通常の条件下では安定
危険有害反応可能性	—
避けるべき条件	加熱
混触危険物質	知見なし
危険有害な分解生成物	知見なし

11. 有害性情報

急性毒性	経口(ラット)LD ₅₀ : >5000mg/kg (区分外) 経皮(ウサギ)LD ₅₀ : >2000mg/kg (区分外) 吸入:データなし (分類できない)
皮膚腐食性および皮膚刺激性	テブチウロン原体のデータ 経口(ラット)LD ₅₀ : ♂2800mg/kg、♀1720mg/kg ¹⁾ 経皮(ラット)LD ₅₀ : ♂♀>5000mg/kg ¹⁾ 吸入(ラット)LD ₅₀ : ♂♀3.696mg/kg ¹⁾
眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性	データなし (分類できない) 眼刺激性(区分 2) テブチウロン:軽度の眼刺激性あり(区分 2) 炭酸カルシウム(区分 2) 眼刺激性区分 2 の成分濃度≥10%より区分 2 とした
呼吸器感作性または皮膚感作性	テブチウロン:モルモットの皮膚に感作性なし(区分外) その他成分のデータなし (分類できない) 以上のデータより分類できないとした。
生殖細胞変異原性(変異原性)	テブチウロン:チャイニーズハムスター卵細胞を用いた in vitro 細胞染色体異常試験で陽性 ¹⁾ (区分 2) (生殖細胞変異原性区分 2 の成分濃度≥1%より区分 2 とした)
発がん性	ベントナイトには一般に発がん性の結晶性シリカが 30%程度含まれている。 結晶性シリカ(区分 1A)≥0.1%より、区分 1 とした。
生殖毒性	データなし (分類できない)
特定標的臓器毒性, 単回ばく露	結晶性シリカ(区分 1)≥10%より、区分 1(呼吸器系)とした。
特定標的臓器毒性, 反復ばく露	結晶性シリカ(区分 1)≥10%より、区分 1(呼吸器系)とした。
吸引性呼吸器有害性	データなし (分類できない)

12. 環境影響情報

生態毒性	コイ(96hr)LC ₅₀ : 835mg/l (区分外) ミジンコ(48hr)LC ₅₀ : 396mg/l (区分外) 藻類(72hr)EC ₅₀ : 2.3mg/l (区分 2) 以上のデータより、水生環境急性有害性区分 2 とした。また水中での挙動が不明な為、水生環境慢性有害性区分 2 とした。
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし

土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし(分類できない)

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 (残余廃棄物、汚染容器 および包装)	内容物や容器を、都道府県知事等の許可を得た専門の廃棄物 処理業者に業務委託すること。
-------------------------------	---

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	3077
品名(国連輸送名)	環境有害物質(固体) N.O.S.
国連分類	クラス 9
容器等級	III
IMDG	9
海洋汚染物質	該当(水生環境慢性有害性区分 2)
MARPOL	非該当
国内規制	
輸送または輸送手段に関する 特別の安全対策	容器を損傷しないよう取扱いは丁寧にする。輸送中の転落、 転倒防止処置をとる。 食品と一緒に保管してはならない。
応急措置指針番号	—

15. 適用法令

農薬取締法	農林水産省登録 第 16793 号
消防法	非該当
毒物劇物取締法	非該当
化審法	優先評価化学物質(トデシルベンゼンスルホン酸塩)
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2、施行令 第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9)(312 シカ)
	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条第 1 項、施行 令第 18 条第 1 号、第 2 号別表第 9)(312 シカ)
大気汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
船舶安全法	危規則第 2,3 条危険物告示別表第 1(有害性物質)
港則法	非該当
海洋汚染防止法	海洋汚染物質(法第 38 条 4、則第 30 条の 2 の 3、平成 4 年運 輸省告示 323 号)
航空法	施行規則第 194 条危険物告示別表第 1(その他の有害物件)
道路法	非該当
化学物質管理促進法(PRTR)	非該当(トデシルベンゼンスルホン酸塩は第一種指定化学物質 No.30 直 鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る)に該当するが、含有量が 1%未満のため非該当)
じん肺法	法第 2 条、施行規則第 2 条別表粉じん作業(シカ)

16. その他の情報

引用文献	1)農薬学会誌 17, S35-S38(1992)技術情報「テブチウロンの毒性試験の概要」
記載内容の問い合わせ先	○全般的な窓口 日本カーリット株式会社 化成品部 TEL 03-6685-2046 FAX 03-6685-2050 ○技術的な内容について 日本カーリット株式会社 群馬工場技術グループ TEL 0279-23-8896 FAX 0279-23-8480 ○法令・規制等について 日本カーリット株式会社 生産管理部 環境安全品質保証グループ TEL 0279-23-8812 FAX 0279-23-8834
記載内容の取扱い	この安全データシート(SDS)は、JIS Z 7253:2012 に従って作成しています。なお、記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成してありますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。